

本状は株式会社 LegalForce と GMO クラウド株式会社の共同プレスリリースです。
各社より重複して配信される場合がございますが、あらかじめご了承ください。

2020 年 8 月 24 日

報道関係各位

株式会社 LegalForce

GMO クラウド株式会社

「LegalForce」と「GMO 電子印鑑 Agree」がサービス連携を開始 契約書の作成・レビューから締結・管理までを一元化

株式会社 LegalForce（本社：東京都千代田区、代表取締役：角田 望、以下 LegalForce）と GMO インターネットグループの GMO クラウド株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：青山 満、以下、GMO クラウド）は本日 2020 年 8 月 24 日（月）より、AI による契約書レビュー支援ソフトウェア「LegalForce」（LegalForce 提供）と、契約の締結から管理までをクラウド上で実現する電子契約サービス「GMO 電子印鑑 Agree」（GMO クラウド提供）のサービス連携を開始いたします。

これにより、「LegalForce」と「GMO 電子印鑑 Agree」を利用する企業の法務担当者は、契約書の作成・レビューから、契約の締結・管理までをクラウド上でシームレスに行うことが可能となります。（※1）

（※1）「LegalForce」の『エンタープライズプラン』ならびに、「GMO 電子印鑑 Agree」の『契約印プラン』または『実印&契約印プラン』へのお申し込みが必要です。



契約業務において、「LegalForce」と「GMO 電子印鑑 Agree」が担う領域

【連携の背景】

「LegalForce」は、AI による契約書の自動レビュー機能を搭載した、クラウド型契約書レビュー支援ソフトウェアです。一方、「GMO 電子印鑑 Agree」は、契約の締結から管理までをワンストップで行える、クラウド型の電子契約サービスです。

企業の法務担当者における業務課題の解決を支援する両サービスのユーザーからは、「『LegalForce』

でレビューを行った契約書をそのまま電子契約で締結したい」、「電子契約を行う前に生じる、契約書の作成や契約リスクを検出するための契約内容の確認業務（レビュー）も効率化できないか」といった、より一層の業務効率化を望む声が寄せられていました。

これを受け LegalForce と GMO クラウドは、企業の法務担当者のさらなる業務効率化を支援するべく、ビジネスにおける契約書作成から契約の締結・管理までの業務を一気通貫して行えるよう、「LegalForce」と「GMO 電子印鑑 Agree」を連携することといたしました。

この度のサービス連携により、企業の法務担当者は、「LegalForce」上で契約書の作成から契約内容のレビュー、PDF 形式の帳票への変換、署名依頼までを行い、そのまま「GMO 電子印鑑 Agree」上で署名（電子サイン・電子署名）、保管・管理まで、一連の契約業務をクラウド上でシームレスに行うことが可能となります。なお、ご利用いただくには「LegalForce」の『エンタープライズプラン』ならびに、「GMO 電子印鑑 Agree」の『契約印プラン』または『実印&契約印プラン』へのお申し込みが必要です。

【ご利用方法】

- 1 「LegalForce」上で契約書の作成と契約内容のレビューを行います。最終版となる契約書を、そのまま「LegalForce」から PDF 形式の帳票へ変換し、『GMO Agree で電子締結』をクリックすると、「GMO 電子印鑑 Agree」による署名（電子サイン・電子署名）が行われます。

The screenshot displays the '文書情報の入力' (Input Document Information) step of the LegalForce interface. The top navigation bar shows '文書情報の入力' and '署名位置の設定' (Setting Signature Position). The left sidebar, titled '入力項目' (Input Items), instructs users to 'ドラッグ&ドロップで契約書の上に配置してください' (Please arrange by drag&drop on the contract). It lists two parties: '株式会社リーガルフォース' (tsunoda@example.com) and '株式会社LegalForce' (nozomu@example.com), each with a '署名・押印' (Signature/Stamp) button. The main area shows a draft contract titled '秘密保持契約' (Confidentiality Agreement). The contract text includes the purpose (Article 1) and definition of confidential information (Article 2). The bottom of the interface features a question mark icon, a '文書情報の入力へ戻る' (Return to Input Document Information) button, and a '送信する' (Send) button.

- 2 署名者を指定し、取引先（お客様）に署名依頼を送信します。契約締結後は、そのまま「GMO 電子印鑑 Agree」上で契約書の保管・管理が可能です。

文書情報の入力		署名位置の設定	
文書情報・設定			
文書名	秘密保持契約書（株式会社LegalForce様）_20200811		
担当者名	Takashi Kawato ※ LegalForce内でのユーザー名が適用されます		
自社署名方法	電子サイン ※ 電子署名は未対応		
送信先			
送信先1	署名順	法人名 又は 氏名	
	1	株式会社リーガルフォース	× 削除
		メールアドレス	
		tsunoda@example.com	
送信先2	署名順	法人名 又は 氏名	
	2	株式会社LegalForce	× 削除
		メールアドレス	
		nozomu@example.com	

■お申し込みについて

以下より、お問い合わせください。

- ・「LegalForce」 お問い合わせメールアドレス
support@legalforce.co.jp
- ・「GMO 電子印鑑 Agree 」 お問い合わせフォーム
<https://gmo-agree.com/form/>

【次世代型クラウド契約書管理システム「Marshall」と「GMO 電子印鑑 Agree」の連携も予定】

両社は、LegalForce が 2020 年 8 月 5 日にオープン β 版の提供を開始した、次世代型クラウド契約書管理システム「Marshall」^(※2) と「GMO 電子印鑑 Agree」の連携を、2021 年以降に予定しています。本連携により、「GMO 電子印鑑 Agree」で契約締結した文書を「Marshall」上でも管理することができるようになる予定です。

今後も両社は企業法務の業務効率化をサポートするべく、サービス間の連携をさらに強化してまいります。

(※2) 次世代型クラウド契約書管理システム「Marshall」について：<https://legalforce-cloud.com/marshall/index.html>

【「LegalForce」について】（URL：<https://legalforce-cloud.com>）

「LegalForce」は、AI を活用したクラウド型契約書レビュー支援ソフトウェアです。契約書のリスクを数秒で洗い出す自動レビュー機能や、社内の契約書データの有効活用を支援するナレッジマネジメント機能により、リスク検出やリサーチにかかる時間を大幅に削減しながら、業務品質を高めることが可能です。

LegalForce の利用者は、平均 3 割の業務時間削減に成功し、8 割以上が契約書業務の品質向上を実感しています。^(※3)

(※3) LegalForce 自社調べ

【「GMO 電子印鑑 Agree」について】（URL：<https://www.gmo-agree.com/>）

GMO クラウドが提供する「GMO 電子印鑑 Agree」は、契約の締結から管理までをワンストップで行えるクラウド型の電子契約サービスです。印紙税や郵送費の削減、契約締結にかかる手間の軽減や時間の大幅な短縮により、業務の効率化を実現することが可能です。国内シェア No.1^(※4) の電子認証サービスブランドで、アメリカやヨーロッパでも利用されている GMO グローバルサインの電子署名サービスと、GMO クラウドが 20 年以上に渡って提供してきたクラウド・ホスティングサービスの実績とノウハウを活かし、共同開発いたしました。

(※4) Netcraft 社の「SSL Survey」より（2019 年 3 月時点）

【株式会社 LegalForce とは】

株式会社 LegalForce は、2017 年に大手法律事務所出身の弁護士 2 名によって創業されて以来、京都大学との共同研究も行う独自の AI 技術と弁護士の法務知見を組み合わせ、企業法務の課題を解決するソフトウェアの開発・提供を行っています。2019 年 4 月に正式版サービスを提供開始したクラウド型契約書レビュー支援ソフトウェア「LegalForce」は、契約書のレビュー業務の品質を高めながら効率化することを可能とし、現在 400 を超える企業・法律事務所で利用されています。（2020 年 8 月時点）

【GMO クラウド株式会社とは】

1996 年のサービス開始以来、ホスティング事業者として 13 万を超える法人のお客様のサーバー運用実績と国内およそ 6,700 社の販売代理店を有しています。2011 年 2 月にクラウドソリューション「GMO クラウド」を立ち上げクラウドサービス事業に本格的に参入して以降、クラウド事業に主軸を置いて国内のみならず世界へ向けてサービスを展開し、グローバル企業を含む多くの企業に最適な IT インフラを提供しております。また、2007 年より「GlobalSign」の電子認証サービスを、連結会社の GMO グローバルサイン株式会社を中心にベルギー、英国、米国、中国、シンガポール、フィリピン、インド、ロシア、ドバイの拠点よりグローバルに展開しております。

以上

【報道関係お問い合わせ先】

●GMO クラウド株式会社
社長室 広報担当 遠藤・松下
TEL03-6415-6100 E-mail :
pr@gmocloud.com

●株式会社 LegalForce
広報担当
TEL : 050-3559-0650
E-mail :pr@legalforce.co.jp

●GMO インターネット株式会社
グループコミュニケーション部
広報担当 石井・長井
TEL : 03-5456-2695 E-mail : pr@gmo.jp

【サービスに関するお問い合わせ先】

●GMO クラウド株式会社
「GMO 電子印鑑 Agree」運営事務局
TEL : 03-6415-7444
お問い合わせフォーム :
<https://www.gmo-agree.com/form/>

●株式会社 LegalForce
「LegalForce」お問い合わせ窓口
TEL : 03-5860-9559
お問い合わせフォーム :
<https://legalforce-cloud.com/page/inquiry.html>

【GMO クラウド株式会社】 (URL : <https://ir.gmocloud.com/>)

会社名	GMO クラウド株式会社 (東証第一部 証券コード : 3788)
所在地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代表者	代表取締役社長 青山 満
事業内容	■クラウド・ホスティング事業 ■セキュリティ事業 ■ソリューション事業
資本金	9 億 1,690 万円

【株式会社 LegalForce】 (URL : <https://legalforce-cloud.com/>)

会社名	株式会社 LegalForce
所在地	東京都千代田区内幸町 1 丁目 1 - 6 NTT 日比谷ビル 8 階
代表者	代表取締役 CEO 角田 望
事業内容	法律業務に関するソフトウェアの研究・開発・運営・保守
資本金	15 億 3,418 万円 (資本準備金等含む。)

【GMO インターネット株式会社】 (URL : <https://www.gmo.jp/>)

会社名	GMO インターネット株式会社 (東証第一部 証券コード : 9449)
所在地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代表者	代表取締役会長兼社長・グループ代表 熊谷 正寿
事業内容	■インターネットインフラ事業 ■インターネット広告・メディア事業 ■インターネット金融事業 ■暗号資産事業
資本金	50 億円

※記載されている会社名、製品名は、各社の商標、もしくは登録商標です。

Copyright (C) 2020 GMO CLOUD K. K. All Rights Reserved.